

「第3次鹿児島県食の安心・安全推進基本計画」 に基づく施策の実施状況（令和4年度）

1 農場から食卓までの安全管理の徹底を通じた食品の安全性の向上

（1）農林水産物の生産段階における安心・安全確保対策

ア 自主的な生産工程管理の取組の促進

① かごしまの農林水産物認証制度（K-GAP）の充実・普及

【輸出・ブランド戦略室，農産園芸課，畜産課，森林経営課，水産振興課】

（ア）生産者への普及・啓発

各地域振興局・支庁が主体となって，生産者等へ認証制度の周知と取得に向けた推進指導を随時実施

（イ）普及指導員によるGAP実践指導

- ・ 生産者に対するGAP導入及び認証取得のための実践指導の実施
- ・ 普及指導員のGAP指導技術向上のための研修受講 延べ59名
- ・ 国際水準GAPガイドライン研修 2人受講

※令和5年3月末現在の認証件数：311件（66品目，262団体・個人等）

② 国際認証GAP等への取組支援

【輸出・ブランド戦略室，畜産課，水産振興課】

（ア）各種認証制度についての情報収集，生産者への周知・普及

（イ）認証取得を支援する指導員の育成及び確保 82人（うち県51人，JA31人）

（ウ）農業教育機関における国際水準GAPの認証取得支援 1校

（エ）環境負荷低減に取り組む団体に対する国際水準GAP認証取得支援 1団体

イ 生産資材，動物・水産用医薬品等の適正使用及び監視指導等の充実

③ 農薬の適正使用の推進【経営技術課】

（ア）農薬指導士の養成

農薬指導士養成研修会等 ※令和5年3月末現在の農薬指導士：2,173人
（うち令和4年度の新規認定63人）

時期	場所	内容	参加者数
7月28日	鹿児島市	○農薬指導士養成研修会 ・農薬取締法について ・毒物及び劇物取締法について ・農薬の取扱いについて	84人
8～12月	県内7か所 （鹿児島，南薩 北薩，始良伊佐， 大隅，熊毛，大島）	○農薬指導士更新研修会・農薬適正 使用推進研修会 ・農薬の適正使用について ・飛散防止対策について	385人

(イ) 農薬適正使用推進啓発活動

適正な農薬使用を指導する際に必要な事項を指針として定め、啓発用ポスター等を配付

また、農薬の使用機会が多い6月から9月までを農薬適正使用推進期間と設定し、農薬販売店、農薬使用者等に対して、農薬の適正で安全な使用等を推進

④ 農薬の販売・管理・使用に関する監視指導【経営技術課】

農薬販売店等への立入検査

区 分	総 数	立入検査	比率(%)	備 考
販 売 店	1,319件	70件	5.3%	違反件数：7件 内容：帳簿未記載
ゴルフ場	27件	7件	25.9%	
計	1,346件	77件	5.7%	

⑤ 肥料の生産や販売に関する監視指導【経営技術課】

(ア) 肥料の品質の確保等に関する法律に基づく適正な登録及び届出指導

区 分	肥料の区分	新規件数	備 考
生 産	普通肥料	4件	県知事への登録分のみ
	特殊肥料	33件	県知事への届出
販 売	—	55件	県知事への届出

(イ) 生産業者及び販売業者への立入検査

区 分	総 数	立入検査	比率(%)	備 考
生産業者	608件	6件	0.9%	違反件数：5件 内容：変更届等未提出等
販売業者 (販売のみ)	1,423件	20件	1.4%	
計	2,031件	26件	1.3%	

⑥ 動物用医薬品の管理、販売等に関する監視指導【畜産課】

動物用医薬品の販売業者の立入検査及び品質検査

区 分	調査件数	備 考
動物用医薬品使用実態調査（農場）	25件	指導件数：5件
動物用医薬品調査（店舗での販売含む）	149件	指導件数：4件
動物用医薬品精密検査（成分検査）	2件	指導件数：0件

⑦ 飼料の安全性確保に関する普及、監視指導【畜産課】

地区講習会及び指導等

区 分	調査件数	備 考
地区講習会	14回	
巡回指導等	畜産農家190戸	
飼料の適正使用指導	延べ202戸	
県内の飼料販売業者等への立入検査	65回	指摘事項：23件

⑧ 水産用医薬品の適正使用の推進【水産振興課】

- ・ 県内の魚類養殖業者及び漁協職員等に対し、「水産用医薬品の使用34報（農林水産省消費・安全発行）」について、水産用医薬品の適正使用に関する研修会を開催 6回



〈水産用医薬品講習会〉

ウ 環境保全への配慮

⑨ I P M（総合的病害虫・雑草管理）技術をはじめとした環境と調和した農業の普及推進【経営技術課】

(ア) I P M技術の実証

ピーマンやいんげんの施設栽培において、天敵利用等による環境にやさしい栽培体系を実証

(イ) 土づくり研修会

堆肥投入等による土づくり及び排水対策の重要性を再認識するため、研修会を開催（10月14日 13人，1月31日 38人）



〈土づくり研修会〉

⑩ 家畜排せつ物の適正処理と堆肥の利活用促進【畜産課】

(ア) 家畜排せつ物の利用状況等を把握

畜産経営に起因する苦情発生状況調査や畜産有機物有効利用推進調査等を実施し、家畜排せつ物の利用状況等を把握

(イ) 畜産農家に対する巡回指導

家畜排せつ物の適正処理や堆肥の利用活用について巡回指導（延べ205戸）

⑪ 自然環境や生産環境の保全に配慮した特用林産物の栽培方法及び肥料の適正な使用方法などの情報提供【森林経営課】

(ア) 原木しいたけ・たけのこ生産者養成講座や栽培・経営指導

事 項	日 数	受講者数
かごしま原木しいたけ生産者養成講座	5日	8人
たけのこ生産者養成講座	3日	16人

(イ) 栽培技術指針に基づいた情報提供

⑫ 県内養殖場の水質や底質の調査及び魚類養殖協議会や研修会を通じた漁場改善計画等の養殖指導【水産振興課】

- (ア) 養殖場環境調査 (134箇所, 2回)
養殖漁協の調査結果の報告を受け水質, 底質の改善指導
- (イ) 魚類養殖協議会 (1回, 書面開催)
漁場環境の正常化や健全な養殖業発展のための協議 (1月18日~20日)
- (ウ) 漁場改善計画の策定指導
適正養殖可能数量の設定等について指導 (随時)

**(2) 製造・加工, 流通・販売段階における監視指導の充実
県食品衛生監視指導計画等に基づく監視指導や食品の検査**

⑬ 施設への立入検査 (監視指導)【生活衛生課】

- ・ 食品の製造・加工施設への監視・指導

事 項	計 画	実 績	主 な 指 導 内 容
業態又は施設毎の標準的な立入回数	8,738件	10,269件	HACCPに沿った衛生管理の運用状況等の確認及び必要な指導・助言

⑭ 食品等の検査【生活衛生課】

- (ア) 食品添加物, 成分規格, 残留動物用医薬品, 残留農薬その他検査

事 項	実 施 状 況	結 果 等
食品添加物, 成分規格	723件	
残留動物用医薬品, 残留農薬等	375件	
指導検査	1,390件	
計	2,488件	

- (イ) 食肉の検査

事 項	実 施 状 況	結 果 等
と畜検査	2,461,505頭	全部廃棄2,649頭(0.11%) [牛(378), 豚(2,263), とく※(8)] 理由: 敗血症, 水腫, 膿毒症, 牛伝染性リンパ腫等, 豚丹毒
食鳥肉検査	155,845,274羽	全部廃棄1,607,205羽(1.03%) 理由: 大腸菌症, 炎症等

※とく: 生後12か月未満の子牛

⑮ 学校・社会保健福祉施設等集団給食施設の監視指導【保健体育課，生活衛生課】

(ア) 県衛生管理等研修会

時 期	場 所	内 容	参加者数
8月5日	県民交流センター	・講義「鹿児島県の食中毒発生状況等について」 ・講義「学校における危機管理について」等	269人

(イ) 学校給食の衛生管理等に関する調査研究の実施（8市町，11施設）

学校給食の衛生管理に関する指導者を学校給食施設へ派遣し，衛生管理状況の調査を行うとともに，衛生管理の徹底を図るための改善指導を行い，各学校給食施設の衛生管理等の改善充実を図った。

(ウ) 学校給食用食品の食品検査

県立学校（抽出校3校）において，原材料及び加工品の3検体について，微生物検査，理化学検査を行い，学校給食用食品の安全性を確認。

(エ) 給食施設に対する監視指導

事 項	目 標	実 績
集団給食施設に対する監視指導	100% (監視指導計画)	31.6%

⑯ いわゆる健康食品による健康被害防止のための買上検査【薬務課】

いわゆる健康食品など，強壮効果及び痩身効果を目的として使用される製品について，インターネットで買上調査を行い，環境保健センターで医薬品成分及び指定薬物の含有について試験検査を実施

事 項	検査品目数	医薬品成分及び指定薬物の検出
強壮剤	6品目	検出されず
痩身剤	4品目	検出されず

⑰ 水産物卸売市場における有毒魚介類等の流通監視【水産振興課，生活衛生課】

- ・卸売市場の実態調査及び監督指導 35市場
- ・流通が規制されているフグ等の情報収集・提供 35市場
- ・有毒魚介類，貝毒及び流通が規制されている魚介類の情報を収集し，水産物卸売市場等へ提供 35市場
- ・県食品衛生監視指導計画等に基づく監視指導や食品検査の実施

(3) 消費段階における安全性の確保

⑱ 食の安心・安全の確保に関する基礎的な知識や情報の周知

【生活衛生課，輸出・ブランド戦略室】

- ・食の安心・安全情報メールによる情報発信（食中毒予防等）（4回）
- ・食中毒注意報発令（1回）

(4) HACCPに沿った衛生管理の推進及び工程管理導入の促進

⑲ 食品関連事業者へのHACCPに沿った衛生管理の導入支援【生活衛生課】

- ・衛生教育実績のうち、HACCPにかかる講習会の実施 163回

⑳ 畜産関連施設への衛生管理ガイドライン等の徹底及びHACCP方式を活用した管理の普及【畜産課】

- ・畜産農家の全戸立入による飼養衛生管理基準の遵守状況調査の実施

家畜	対象農場	立入農場
牛	6,903件	4,546件
豚	523件	368件
家きん	856件	856件

- ・HACCP方式を活用した管理の普及を各地域で実施
HACCP認証農場 22農場
(内訳 肉用牛：3農場、豚：16農場、採鶏卵：3農場)

㉑ 衛生管理型の水揚施設の整備支援や自主的衛生管理への取組促進【水産振興課】

- ・衛生管理型市場の整備及び自主的衛生管理への取組についての助言 35市場
- ・EUの衛生管理基準をクリアしたEU登録養殖場の監視・指導 3か所

㉒ HACCP等高度な衛生管理手法に対応できる人材の育成【生活衛生課】

- ・自治体職員向けHACCP研修会（HACCP指導者養成）に食品衛生監視員派遣 1名
- ・HACCPに係る助言等を行う食品衛生監視員講習会に食品衛生監視員を派遣 2名

(5) トレーサビリティの推進

㉓ 米トレーサビリティ制度の適正運用

【輸出・ブランド戦略室、農産園芸課】

実施状況等	
米穀事業者等に対する研修会や実態調査等による「米トレーサビリティ制度」の普及啓発	
研修会	9件 (193人) [食品表示講習会等と併せて実施]
実態調査	28件 (適正率93.9%)

㉔ 茶れきくんの導入促進【農産園芸課】

- ・トレーサビリティシステム等の推進状況

品目	実施状況等
茶	“茶れきくん”（県経済連による取組）の導入推進（300工場） 生産履歴開示請求点数 33,772点 → 生産履歴報告平均日数 2.9日

(6) 食の安心・安全の確保に向けた調査・研究等の推進

②⑤ 化学肥料や化学合成農薬の使用量の低減に必要な病害虫防除技術や施肥管理技術の開発等【経営技術課】

- ・環境と調和した農業技術の開発

実施した研究の内容	実 績
地域循環！「糖含有珪藻土」を活用した安心・安全な土壌消毒と土壌改良技術の開発	糖含有珪藻土を用いた土壌還元消毒の効果的なかん水及び被覆時期を解明。

②⑥ 水産用医薬品の使用低減のための養殖技術の開発【水産振興課】

- ・外部寄生虫による疾病対策の研究

実施した調査研究の内容	実 績
ブリ類養殖で問題となっているハダムシ寄生に対する抑制手法の探索	天然素材を添加した固形配合飼料をカンパチに給餌し、薬剤に頼らずにハダムシ寄生を抑制する試験を実施した。その結果、天然素材給餌によるハダムシ寄生抑制効果を確認した。

②⑦ 食品等に起因する様々な問題についての解決法や再発防止策を得るための調査・研究【生活衛生課】

- ・食品等に関する調査・研究

調査・研修事例数	実 績
4 演題	2 演題は、全国食品衛生監視員研修会で発表 ・学校給食におけるヒスタミン汚染が疑われた原料による食中毒事例について ・清涼飲料水の大腸菌群の成分規格検査における内部精度管理用菌液の調製について

2 食品表示の適正化による消費者への的確な情報の伝達・提供

(1) 食品表示の適正化の推進

㊸ 食品表示関係法令の周知

【輸出・ブランド戦略室，生活衛生課，健康増進課，
消費者行政推進室，計量検定所，薬務課】

(ア) 食品表示に関する法令の普及啓発のための食品関連事業者等に対する研修会
(食品表示法)

内 容	回 数
・食品表示法（品質事項）に関する研修会の開催，事業者主催の勉強会等への講師派遣	16回
・食品表示法（保健事項）に関する研修会の開催，事業者主催の勉強会等への講師派遣	1回
・衛生教育のうち，食品表示法（衛生事項）に関する講習会	99回

(景品表示法)

・事業者向けコンプライアンス研修会

時 期	場 所	内 容	参加人数
2月9日	オンライ ン	景品表示法の基本的な考え方と違反事例 及び鹿児島県での相談事例，品質事項	74

・事業者等からの講師派遣依頼への対応

内 容	回 数
景品表示法の講師派遣	0回
計量法の講師派遣	0回

(イ) 食の安心・安全情報メールによる周知（24回／年）

㊹ 食品表示に関する相談対応

【輸出・ブランド戦略室，消費者行政推進室，生活衛生課，
健康増進課，薬務課，計量検定所】

(ア) 食品表示110番の受付状況（消費者行政推進室）

事 項	件 数	内 容
食品表示110番	679件	相談（649件），疑義（18件），苦情（8件）， 依頼（4件）
食品表示指導員	3回	研修会等への対応

(イ) 食品表示法（品質事項）に関する食品表示相談等への対応

（輸出・ブランド戦略室）

事 項	実 施 状 況
食品表示法（品質事項）に関する食品表示 相談等への対応	276件 （うち相談257件，情報提供19件）

(ウ) 食品表示法（衛生事項）に基づく食品表示状況（生活衛生課）

事 項	実 施 状 況
食品表示法（衛生事項）関係食品表示相談等への対応	81件

（各保健所での相談件数を含まず）

(エ) 食品表示法（保健事項）及び健康増進法に関する相談等への対応
（健康増進課）

事 項	消費者	事業者	計
相談件数	3件	173件	176件

(オ) 食品に対する医薬品的な効能効果の表示状況（薬務課）

区 分	相 談	監視指導	計
件 数	10件	7件	17件

(カ) 景品表示法に基づく食品表示状況（消費者行政推進室）

区 分	件 数	内 容
相談等	80件	優良・有利誤認表示等

(キ) 計量法に基づく食品表示状況（計量検定所）

区 分	相 談	情報提供	計
件 数	70件	0件	70件

(2) 食品表示に関する監視、指導

③ 食品表示実態調査等の実施

【輸出・ブランド戦略室，消費者行政推進室，生活衛生課，健康増進課，薬務課，計量検定所，農産園芸課，畜産課，水産振興課，森林経営課】

(ア) 食品表示法（品質事項）に基づく食品表示実態調査

（輸出・ブランド戦略室）

事 項	実 施 状 況
食品関連事業者に対する食品表示実態調査	112件（適正表示率94.6%）

(イ) 食品表示法（衛生事項）に基づく食品表示状況（生活衛生課）

表示違反件数	違反の内容
0件	

(ウ) 計量法に基づく商品量目立入検査状況（計量検定所）

事 項	検査件数	検査個数	適 正 表示率 (%)	不適正表示の概要
スーパー等の内容 量表記商品(食品 類)の立入検査 (権限移譲市を含む)	110件	7,261個	98.7%	表示量に対する許容 誤差を超えた内容量 の不足

*検査件数は、検査店舗数



〈食品表示に関する講習会〉



〈食品表示実態調査〉

(エ) 景品表示法に基づく食品表示状況（消費者行政推進室）

区 分	件 数	内 容
指 導	3件	優良誤認表示

(3) 消費者の理解促進

③ 消費者の食品表示に関する理解促進【消費者行政推進室，計量検定所】

- (ア) 食の安心・安全情報メール（食品表示及び景品表示法（食品関係）に関する情報等）を配信（7回）
- (イ) 商品量目調査会及び計量教室
商品量目調査会・計量教室（5回）

3 農林水産物の病気や害虫のまん延防止による食料の安定供給

(1) 各種疾病・病害虫等の発生防止対策の推進

③② 農作物栽培における病害虫の適期防除の推進【経営技術課】

(ア) 病害虫発生予察情報の発表

内 容	回 数
定期的な発生予報の発表	12回
警報(0回), 注意報(3回), 特殊報(0回)の発表	3回
技術情報の提供	15回

(イ) 各種広報媒体を活用した病害虫発生予察情報の発信

内 容	回 数
病害虫防除所ホームページ	年間
新聞(農作物病害虫情報)	12回
電話(病害虫防除情報テレホンサービス)	15回

③③ 家畜の各種疾病の発生動向の把握, 防疫指導, 検査等の実施【畜産課】

(ア) 家畜の各種疾病の実態調査

家畜の各種疾病の発生状況を把握
(抗体検査や立入検査, 病性鑑定を実施(通年))

内 容	件 数
家畜伝染病の発生	17件
届出伝染病の発生	572件

(イ) BSE検査等の実施

- ・ BSE対策特別措置法に基づく検査
死亡牛のBSE検査の実施状況: 1,759頭
- ・ 高病原性鳥インフルエンザ発生防止対策
高病原性鳥インフルエンザモニタリング調査の実施状況: 258戸

③④ 魚病の防疫指導及び各種疾病の実態調査【水産振興課】

(ア) 魚病の防疫指導(養殖用輸入種苗の監視)

輸入種苗の導入後の魚病検査

内 容	回数及び件数
巡回指導及び講習会	12回
検査実績	134件

※寄生虫について, 腹腔内の胃周辺部を中心にアニサキスの有無を検査したが, アニサキス等の人へ直接的な害を与える寄生虫や細菌はみられなかった。

(イ) 魚病の防疫指導(各種疾病の実態調査)と水産用医薬品の適正使用の推進

- ・ 魚病診断, 巡回指導

内 容	回数及び件数
巡回指導実績	海面養殖: 9回, 内水面養殖: 1回
魚病診断件数	海面養殖: 350回, 内水面養殖: 74回

(ウ) 水産用医薬品の適正使用研修

内 容	回 数
水産用医薬品の適正使用に関する研修会 (対象: 養殖業者及び漁協職員)	6回

(2) 危機管理体制の整備

- ⑳ 各種疾病等に関する危機発生事案ごとのマニュアルに基づく対応
・ 平時からの情報の共有化や連携の強化による事案発生の未然防止と事案発生時の迅速かつ適切な対応【畜産課，経営技術課，消費者行政推進室】

口蹄疫，豚熱及び高病原性鳥インフルエンザといった，万が一，発生すると地域社会に大きな影響を及ぼす家畜伝染病については，発生時の防疫対策等を定めた防疫対策マニュアルを策定し，迅速な初動防疫対応が行えるよう防疫演習を実施。

また，防疫対策会議の随時開催やメールマガジンによる発生情報の提供等により，関係者に注意喚起を行うことで防疫意識の共有を図るとともに，県内において家畜伝染病の発生又は発生のおそれがある場合に，迅速，適確な防疫業務が実施できるよう，県関係機関における動員体制の構築や，関係団体と緊急防疫業務等に関する協定を締結

内 容	回 数	人 数
防疫対策会議（高病原性鳥インフルエンザ）	22回	407人
防疫対策会議（豚熱等）	10回	121人
防疫演習（口蹄疫）	6回	224人
防疫演習（高病原性鳥インフルエンザ）	18回	595人
防疫演習（豚熱）	6回	287人

高病原性鳥インフルエンザについては，国内においては令和4年10月28日に初めて発生して以降，26道県84例発生し，約1,771万羽が殺処分対象となった。また，県内においては，令和4年11月18日に初めて発生して以降，13例が発生し，約137万羽が殺処分対象となった。

県職員延べ約8,500名が発生農場における防疫作業に従事し，市町をはじめ県建設業協会，県警備業協会，県職員等延べ約8,600名が消毒ポイントにおける消毒作業に従事した。

4 県民をはじめとした関係者との情報・意見交換と信頼の確保

(1) 食の安心・安全の確保に向けた生産者・食品関連事業者の取組に関する情報発信

③⑥ かごしまの農林水産物認証制度（K-GAP）の認知度向上

【輸出・ブランド戦略室】

- (ア) ツイッター等SNSを活用した制度の周知
 - ・発信回数：3回
 - ・投稿内容：K-GAP認証状況及び認証品目の紹介，6次化マルシェPR等
- (イ) K-GAP認証品のPR協力店の登録拡大
 - ・K-GAPをPRする協力店の登録を推進（314店舗）

③⑦ かごしまブランド産品をはじめとした県産農畜産物の認知度向上に向けた取組

【輸出・ブランド戦略室】

- ・かごしまブランド産品等の販売促進活動

内 容	取 組 概 要
①宣伝販売	○県内外の販売指定店における県産農産物の販売促進活動（14社）
②高級果物店と連携したPRイベント	○かごしまブランド産品「大将季」や「きんかん」等の宣伝販売 ○フルーツパーラーやレストランでのメニューの提供
③調理師専門学校と連携したPR	○生徒に対して県産農産物の紹介，調理実習や試食の実施（東京，福岡）
④鹿児島黒牛日本一レストランフェアでのPR	○鹿児島黒牛日本一フェアを首都圏10店舗の飲食店で開催（東京）
⑤GI登録産品のPR	○鹿児島の壺造り黒酢，桜島小みかん，鹿児島黒牛，辺塚だいだい，えらぶゆり，種子島安納いも

- ・「かごしまの食ウェブサイト」を活用した「かごしまブランド産品等」の情報発信

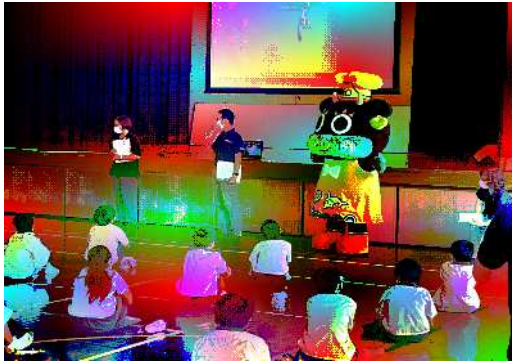
内 容	回 数
農産物の出荷等の産地情報や量販店でのフェア等のイベント情報	43回

③⑧ 「かごしま畜産の日」の活動を通じた生産者と消費者の相互交流，理解促進

【畜産課】

- ・体験学習会や出前授業等

内 容	回 数	人 数
かごしまの畜産出前授業	12回 (9月～12月)	312人
県産畜産物の安心・安全のPRと消費拡大キャンペーン等	2回	不明



〈出前授業〉
(伊敷小学校)



〈出前授業〉
(錦江町立錦江中学校・田代中学校)

③⑨ 「かごしまのさかな」ブランド認定魚の認知度向上【水産振興課】

・各種フェア等でのPR

内 容	月 日
・キャンプ宿泊者向け魚食普及イベント	10月29日
・YoutubeによるPR	1月26日
・「魅力の宝庫」かごしまセールスプロモーション（東京都）	1月27日
・鹿児島フェア（宮城県）	2月24日～25日
・鹿児島フェア（福岡県）	3月17日～19日

④⑩ 安心・安全な特用林産物の認知度向上【森林経営課】

(ア) 各種フェア等を通じたPR・普及

内 容	月 日
・かごしま原木しいたけフェア	10月12日～10月14日
・森のごちそうコンクール	11月12日
・かごしま原木しいたけ・たけのこ祭	12月17日～12月18日



〈かごしま原木しいたけフェア〉



〈森のごちそうコンクール〉

(イ) 学校給食への食材提供及び学習活動

しいたけ・たけのこを，小中学校等へ学校給食の食材として提供するとともに栽培方法等の学習活動を実施（食材提供14校）

④① 食品関連事業者の食の安心・安全に対する取組の情報発信

【輸出・ブランド戦略室】

食の安心・安全情報メールを活用した食品関連事業者の取組の情報発信
(食の安心・安全情報メールによる情報発信 24回/年)

(2) 食の安心・安全の確保の推進を担う人材の育成

④② 地域における食の安心・安全の確保に係る正しい理解の浸透に寄与する人材の育成

【輸出・ブランド戦略室】

食の安心・安全推進パートナー募集・登録のため、県ホームページへの掲載や各研修会においてチラシを配付

(食の安心・安全推進パートナー※ 1,185人(令和5年3月末))

※食の安心・安全の確保に関心のある団体・企業・個人で県に登録した者

④③ 農業者や食品関連事業者など食の安心・安全の確保を図る人材の育成

【輸出・ブランド戦略室】

農業者や食品加工事業者等を対象に「食のプロデューサー育成セミナー」を開催し、農産物加工の基礎技術をはじめ、農薬の適正管理や食品の衛生管理、適正な食品表示方法などを講義し、人材を育成

(食のプロデューサー育成セミナー開催 1回, 18人)

(3) 健康への被害(まん延)防止対策

④④ 自主回収報告制度を活用した健康被害防止対策【生活衛生課】

自主回収報告受理件数		15
内 容	表示の誤り	9
	異物混入	4
	成分規格違反	2

④⑤ 感染症対策など健康被害防止情報をはじめとする各種情報の収集及び整理と正確かつ適切な情報の提供【生活衛生課, 消費者行政推進室, 健康増進課】

- ・消費者安全法に基づく消費者事故や重大事故等の情報収集及び情報提供
- ・県ホームページによる情報提供(食中毒関連情報等)
- ・食品衛生情報リーフレットの作成・配布

(4) リスクコミュニケーションの推進

④⑥ 食の安心・安全の確保に関する基礎的な知識や情報の周知

- ・生産者, 食品関連事業者, 県民その他の関係者間における情報の共有と意見交換の場の提供

【輸出・ブランド戦略室, 経営技術課, 生活衛生課, 消費者行政推進室】

(ア)「食」の安心・安全セミナー

時期	場所	内容	参加者数
2月3日	県民交流センター(オンライン併用)	講演 1. 「食品トレーサビリティについて」 國松博文氏(九州農政局 消費生活課) 2. 「新たな遺伝子組換え表示制度について」 中村光也氏(FAMIC福岡センター)	23人 (うちオンライン10人)

(イ) GAP推進セミナー

時 期	場 所	内 容	参加者数
1月19日	市町村自治会館(オンライン併用)	講演 1.「そもそもGAPは何のためのものか? GAP農産物のマーケットの広がり」 武田泰明氏(NPO法人GAP総合研究所) 2.「何故国際水準GAPに取り組んだのか? メリットとデメリットは?」 大吉枝美氏((株)大吉農園)	62人 (うちオンライン46人)

(ウ) 有機農業に関する意見交換会 【経営技術課】

時 期	場 所	内 容	参加団体
10月25日 1月26日	鹿児島市	・有機農産物の消費拡大に関する消費者団体との意見交換	4団体 (4人)
3月6日	鹿児島市	・有機農産物等の販売促進に係る卸売業者、流通販売業者との意見交換	3事業者 (5人)

(エ) 食の安全を学ぶ基礎講座

食品の安全を守る仕組み、食品添加物や農薬、食品表示などの基礎知識を学ぶ短大生を対象とした基礎講座の開催

時 期	場 所	内 容	参加者数
12月14日	鹿児島県立短期大学	・食の安心・安全の確保に関する基礎知識	37人

(オ) 食品衛生責任者養成講習会

開催時期	場所・回数	内 容	参加者数
4月 ～3月	県内12か所 (日置市, 南さつま市, 指宿市, 薩摩川内市, 出水市, 霧島市, 伊佐市, 志布志市, 鹿屋市, 西之表市, 屋久島町, 奄美市, 徳之島町) 計51回	・食品衛生学 ・食品衛生法 ・公衆衛生学)	1,453人



〈GAPセミナー〉



〈食の安全を学ぶ基礎講座〉

④⑦ 正確な情報の伝達や情報の共有及び意見交換を自主的に行う取組の推進
【輸出・ブランド戦略室, 消費者行政推進室】

・食の安心・安全推進パートナーが自主的に取り組む「地域リスクコミュニケーション」への支援

時 期	実施主体 (食の安心・安全推進パートナー)	場 所	内 容	参加者
10月23日	NPO法人 霧島食育研究会 (霧島市)	いちき串木 野市（物産 館等）	地域食材の生産・加工・食文 化におけるリスクコミュニケ ーション研修	18人

(5) 健康増進に関する施策との連携

④⑧ 健康かごしま21の推進【健康増進課】

- ・適切な食生活習慣の普及・定着
- ・産業界との連携による食環境の整備

「食塩少なめ」「脂質控えめ」「野菜たっぷり」で家庭用レシピを掲載した「かんたんヘルシー減塩レシピ集」を情報メールやホームページを活用し、普及を図った。

(ア) 食の健康応援店の登録を推進

かごしま食の健康応援店登録店舗数 754店舗（令和5年3月末）

(イ) 食生活改善推進員による栄養・食生活に関する普及啓発

普及啓発の人数 14,837人（令和5年3月末）

(6) 食育に関する施策との連携

④⑨ 「家庭」, 「学校」, 「保育所等」, 「地域」における食育の推進

【輸出・ブランド戦略室】

事 項	実 施 状 況
食育支援体制における食育支援	支援実施校(幼稚園, 保育園, 小中学校等) 71校 (3,829人) 支援回数 127回
食と農の指導者研修	18人
かごしま版食事バランスガイドの普及	各種研修会等での普及啓発
食育シニアアドバイザーの登録・派遣	6人登録, 10回派遣
かごしま生き生き食の日のPR (毎月第3土曜日)	県HPや各種イベント等でのPR
市町村食育推進計画の策定促進	37市町村策定
かごしまの“食”交流推進セミナー	33人



〈食と農の指導者研修会〉



〈保育園等での農業体験活動〉

5 食の安心・安全の確保に向けた推進体制の整備

(1) 「鹿児島県食の安心・安全推進委員会（企画推進部会）」の運営

⑤① 基本計画等の進捗状況の評価 【輸出・ブランド戦略室】

施策の進捗状況について、県食の安心・安全推進委員会（企画推進部会）において、評価・点検を行い、県ホームページにて公表した。

- (ア) 県食の安心・安全推進委員会企画推進部会の開催（令和4年8月22日書面開催）
- ・「鹿児島県食の安心・安全推進基本計画」の実施状況等について
 - ・令和4年度県食品衛生監視指導計画について
 - ・環境保全型農業直接支払交付金について

(2) 危機管理体制の整備

⑤① ・食に関する危機発生事案ごとのマニュアル等に基づく対応 ・平時からの情報の共有化や連携の強化による事案発生時の未然防止と事案発生時の迅速かつ適切な対応 【生活衛生課，健康増進課，薬務課，消費者行政推進室，輸出・ブランド戦略室】

- (ア) 他自治体における発生事案情報の共有化
(イ) 消費者事故や重大事故等の情報収集及び情報提供

(3) 国，他の都道府県，市町村その他の関係機関・団体との連携

⑤② ・内閣府食品安全委員会，消費者庁，厚生労働省，農林水産省など国との連携や他都道府県との連携 ・県内市町村等との連携 【輸出・ブランド戦略室，生活衛生課】

「九州・山口地域食の安全安心連携会議」（長崎県）等による情報収集や連携
※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和4年度はオンライン開催
開催日：令和4年8月30日

「第3次鹿児島県食の安心・安全推進基本計画」（令和3年度～令和7年度）

数値目標に対する令和4年度実績等

令和4年度 目標達成数： 26/60 項目

基本施策	取組内容	指標数	参考となる指標	現状 (R1)	実績 (R3)	実績 (R4)	目標 (R7)	目標対比 (実R4/目R7)
1 農場から食卓までの安全管理の徹底を通じた食品の安全性の向上	①	1	〇かごしまの農林水産物認証制度（K-GAP）における認証件数	317件	305件	311件	320件	97%
	②	2	〇JGAP等認証取得件数	144件	236件	241件	190件	127%
		3	〇JGAP家畜・畜産物の認証取得経営体数	10件	14件	14件	44件	32%
	③	4	〇農薬販売店における農薬指導士設置割合（農薬指導士数/農薬販売店数）	53.6%	54.9%	51.7%	80%	65%
	④	5	〇農薬販売店における農薬指導士設置割合（農薬指導士数/農薬販売店数）【再掲】	53.6%	54.9%	51.7%	80%	65%
		6	〇農薬販売店等への立入検査における違反件数割合	18.9%	33.3%	10.0%	10%	100%
	⑤	7	〇肥料法違反件数	10件	13件	5件	0件	0%
	⑥	8	〇動物用医薬品使用実態調査の実施状況	87件	33件	25件	80件	31%
		9	〇医薬品調査の指導状況（動物用医薬品販売業者等の許可数に対する割合）	48%	59%	39%	50%	78%
	⑦	10	〇飼料の製造・販売及び使用等に関する立入検査・巡回点検指導件数（飼料製造・販売業者等に対する割合）	308件 (3.1%)	245件 (2.6%)	255件 (2.9%)	301件 (4.4%)	85%
		11	〇飼料の製造・販売等の不適正な事例件数	0件	0件	0件	0件	100%
	⑧	12	〇水産用医薬品適正使用指導等研修会の開催回数	2回	2回	6回	3回	200%
	⑨	13	〇露地オクラ栽培におけるIPM技術（土着天敵利用）の取組面積（対象：JAいぶすき管内）	42ha	44ha	45ha	60ha	75%
	⑩	14	〇県畜産有機物有効利用推進調査による家畜排せつ物の利用状況（適正処理仕向率）	92.7%	94.0%	未確定	98.0%	-%
	⑪	15	〇たけのこ生産者養成講座の開催回数	1回	1回	1回	1回	100%
		16	〇かごしま原木しいたけ生産者養成講座の開催回数	1回	1回	1回	1回	100%
	⑫	17	〇漁場環境調査の実施状況	97%	99%	100%	100%	100%
	⑬	18	〇標準的な立入回数を設ける業種（施設）への監視指導（毎年度策定した計画に基づく達成率）	103%	113%	118%	100%	118%
	⑭	19	〇食品の添加物、成分規格基準、残留動物用医薬品、残留農薬などの検査（毎年度策定した計画に基づく達成率）	106%	88%	80%	100%	80%
	⑮	20	〇給食施設に対する監視指導（毎年度策定した計画に基づく達成率）	73.6%	26.3%	31.6%	100%	32%
	⑯		〇いわゆる健康食品買上検査の継続実施	数値目標なし				
⑰	21	〇水産物卸売市場への実態調査	36件	35件	35件	36件	97%	

基本施策	取組内容	指標数	参考となる指標	現状 (R1)	実績 (R3)	実績 (R4)	目標 (R7)	目標対比 (実R4/目R7)
1 農場から食卓までの安全管理の徹底を通じた食品の安全性の向上	⑱	22	○各種広報媒体を活用した情報発信回数 (食品の衛生管理等に関する知識や情報)	4回	11回	4回	4回	100 %
	⑲	23	○HACCP制度普及のための講習会実施回数	263回	135回	163回	82回	199 %
	⑳	24	○飼養衛生管理基準立入検査の実施状況 (対象農場に対する割合)	8,438戸 (91%)	6,314戸 (73%)	5,777戸 (69%)	全戸 (100%)	-1 %
		25	○HACCP認証農場数	22農場	21農場	22農場	25農場	88 %
	㉑	26	○水揚施設の衛生管理状況実態調査	36件	36件	35件	36件	97 %
	㉒		○HACCP等高度な衛生管理手法に対応できる人材の育成	数値目標なし				
	㉓	27	○米トレーサビリティ制度の普及啓発 (研修会開催)	1回	0回	9回	2回	450 %
		28	○食品表示実態調査における適正率 (米穀等)	96.4%	99.5%	93.9%	100%	94 %
	㉔	29	○茶れきくんの県内茶工場導入率	64.4%	72.4%	74.6%	72.5%	103 %
	㉕	30	○環境と調和した農業の推進を支えるために確立した技術数	8件/年	6件/年	5件/年	8件/年 累計40件	63 %
	㉖	31	○医薬品使用低減に向けた養殖技術に関する講習会の実施回数	2回	2回	6回	3回	200 %
	㉗	32	○食品等に起因する様々な問題についての調査・研究事例数	4題	6題	4題	4題	100 %
	2 食品表示の適正化による消費者への的確な情報の伝達・提供	㉘	33	○食の安心・安全情報メール等を活用した情報発信件数	24回	24回	24回	24回
㉙			○食品表示に関する相談対応	数値目標なし				
㉚		34	○食品表示法(品質事項)に基づく食品表示の適正表示率	92.1%	92.7%	94.6%	100%	95 %
		35	○商品量目立入検査の検査個数	7,845個	6,542個	7,261個	7,700個	94 %
㉛		36	○商品量目調査会及び計量教室の実施	2自治体	0自治体	5自治体	5自治体	100 %
	37	○食の安心・安全情報メール等を活用した情報発信件数【再掲】	24件	24件	24件	24件	100 %	
3 農林水産物の病気や害虫のまん延防止による食料の安定供給	㉜	38	○トビイロウンカの被害面積	10ha	0ha	0ha	10ha	100 %
	㉝	39	○死亡牛のBSE検査の実施状況	対象牛全頭 (1,625頭)	対象牛全頭	対象牛全頭	対象牛全頭	%
		40	○高病原性鳥インフルエンザ等に関するモニタリング検査の実施状況	対象農家全戸 (431戸)	対象農家全戸	対象農場全戸	対象農家全戸	%
	㉞	41	○養殖衛生管理指導を行った養殖経営体数(割合)	71%	49%	58%	75%	77 %
	㉟	42	○防疫演習の実施件数(口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ)	20件	18件	30件	20件	150 %
		43	○ミカンコミバエ定着市町村	0市町村	0市町村	0市町村	0市町村	100 %

基本施策	取組内容	指標数	参考となる指標	現状 (R1)	実績 (R3)	実績 (R4)	目標 (R7)	目標対比 (実R4/目R7)	
4 県民をはじめとした関係者との情報・意見交換と信頼の確保	③⑥	44	○ツイッターの投稿回数	12回	12回	3回	12回	25 %	
	③⑦	45	○「かごしまの食ウェブサイト」を活用した情報の発信件数	653件	770件	813件	870件	93 %	
	③⑧	46	○かごしまの畜産体験学習会・出前授業の開催回数	8回	11回	12回	10回	120 %	
		47	○県産畜産物の安心・安全のPRと消費拡大キャンペーン等の開催回数	1回	0回	2回	1回	200 %	
	③⑨	48	○「かごしまのさかな」認知度向上にかかる、展示会等における啓発取組回数	11回	6回	5回	11回	45 %	
	④⑩	49	○食の安心・安全情報メール等を活用した情報発信件数【再掲】	24件	24件	24件	24件	100 %	
	④⑪	50	○食の安心・安全情報メール等を活用した情報発信件数【再掲】	24件	24件	24件	24件	100 %	
	④⑫	51	○食の安心・安全推進パートナーシップ制度への登録者数	1,090人	1,165人	1,185人	1,500人	79 %	
	④⑬	52	○食のプロデューサー育成セミナー参加者数	30人	0人	18人	30人	60 %	
	④⑭	53	○自主回収報告制度を活用した健康被害防止対策	数値目標なし					
	④⑮	53	○食の安心・安全情報メール等を活用した情報発信件数【再掲】	24件	24件	24件	24件	100 %	
		54	○食の安心・安全情報メール等を活用した情報発信件数【再掲】	24件	24件	24件	24件	100 %	
	④⑯	55	○セミナー等への参加者数（リスクコミュニケーションの推進）	1,534人	2,243人	1,880人	2,400人	78 %	
		56	○地域におけるリスクコミュニケーションに関する研修会等の開催回数	1回	1回	1回	2回	50 %	
	④⑰	57	○1日当たりの食塩の平均摂取量	9.9g (H30)	9.9g (H30)	9.9g (H30)	(R4) 8g未満	— %	
		58	○1日当たりの野菜の平均摂取量	291g (H30)	291g (H30)	291g (H30)	(R4) 350g以上	— %	
		59	○かごしま食の健康応援店	749店舗	758店舗	754店舗	(R4) 1,000店舗以上	75 %	
	④⑱	60	○意識して県産農林水産物を購入する人の割合	84.1%	79.1%	80.9%	90%以上	90 %	
	5 食の安心・安全の確保に向けた推進体制の整備	⑤⑩		○施策の進捗状況の評価	数値目標なし				
⑤⑪			○危機管理体制の適正運用	数値目標なし					
⑤⑫			○国等との連携強化	数値目標なし					